

野苣菜 からとった
種を育てる

～2年前に育たなかった

野苣菜の再チャレンジ～

6年1組 太田 結菜

<研究の目的>

- ・野菜からとれた種で野菜が育つのは2年間やってきて分かったので、一昨年育たなかった中玉トマトと2年間育てていないキウイを再度育ててみたい。
- ・毎年育つスイカと去年失敗したしモシの代わりに同じ柑橘類の河内晩柑を育ててみたいと思った。
- ・スイカは去年10月に収穫できたので、今年を植える。

<予想>

- ・スイカは去年7/27に植えて、10/14に直径約7cmくらいの大きさに育ったので早い時期に植えると8月ごろに大きなスイカが収穫できると思う。
- ・河内晩柑はしモンがとちゅうまで育ったから子葉は出てくると思う。
- ・トマトは一昨年育てたときに子葉が出てきて他の植物にかくれて枯れたから今年は実がつくと思う。

。キウイは2年連続で育っていないから
今年も育たないと思う。

<研究の方法>

1. 野菜から種を取り出し、水分をふきとる。
果実の種のまわりのゼリーには発芽抑制
成分がふくまれているので、きれいに洗う。
2. 去年までは水でひたしたペーパータオルに種
を置いて観察していたが、直接土に植えた方
が育つので、土に植える。
そのまま種を植える

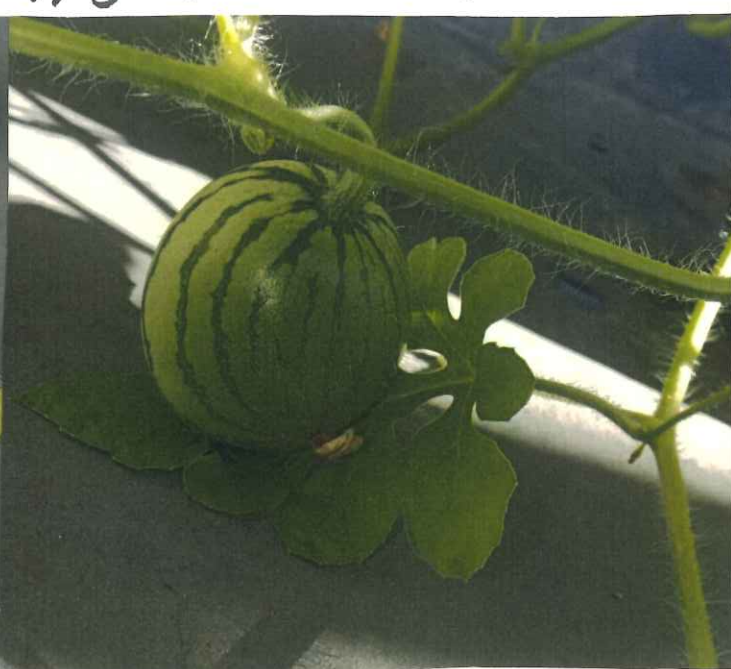
<研究の記録>

スイカの記録

去年の記録 7/27 植え～10/14 収穫まで

R6 8/30 スイカの実

9/5 くきりとしお模様になる 10/14 最大7cmのスイカ 3つ収穫

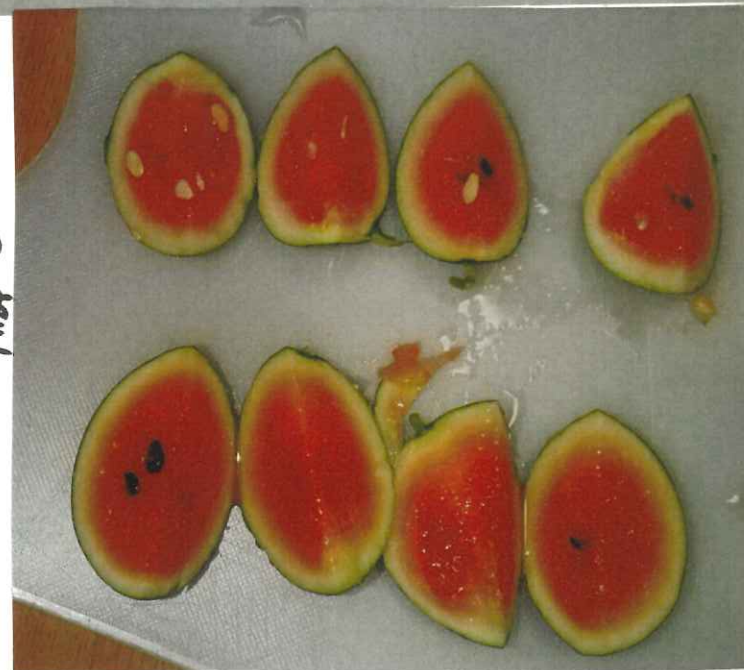


10/14
収穫したスイカ



10/14

切ってみたところ
実は赤く、黒い種
もあった。
食べてみたら、
とても甘くて
おいしかった。



今年の記録

4/20 スイカの種を植える



5/15 スイカ 子葉になる



5/25 どんどん増える・大きくなる



6/12 去年同様に、バナナの皮を
かんそうさせたものを肥料として
入れる。

6/18 育っている葉とあまり育っていない
葉がある。

6/30 葉が大きくなってきた



7/2 育ちが悪く1つ枯れてしまった。7/4 もう1つ枯れてしまった。
1つは大きくなって、つるがのびてきた。7/25



7/27



7/31 つるがのびているが、葉の育ちが悪い



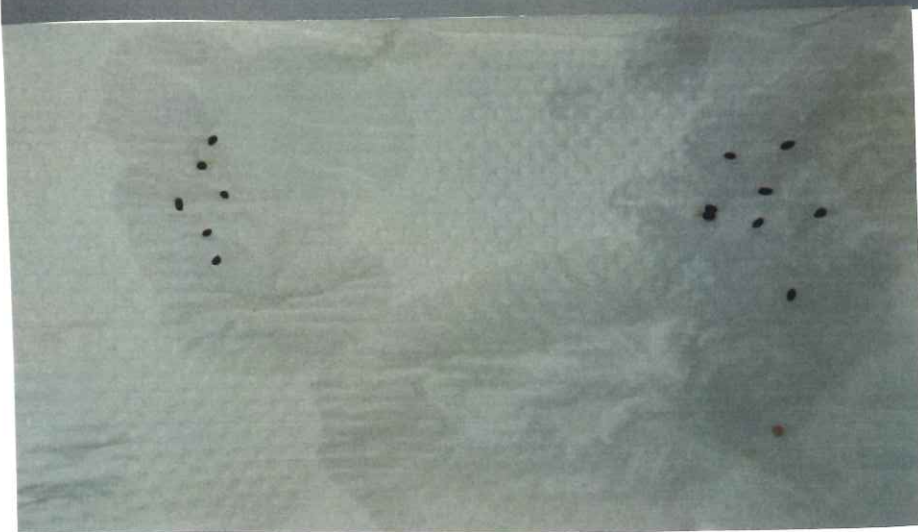
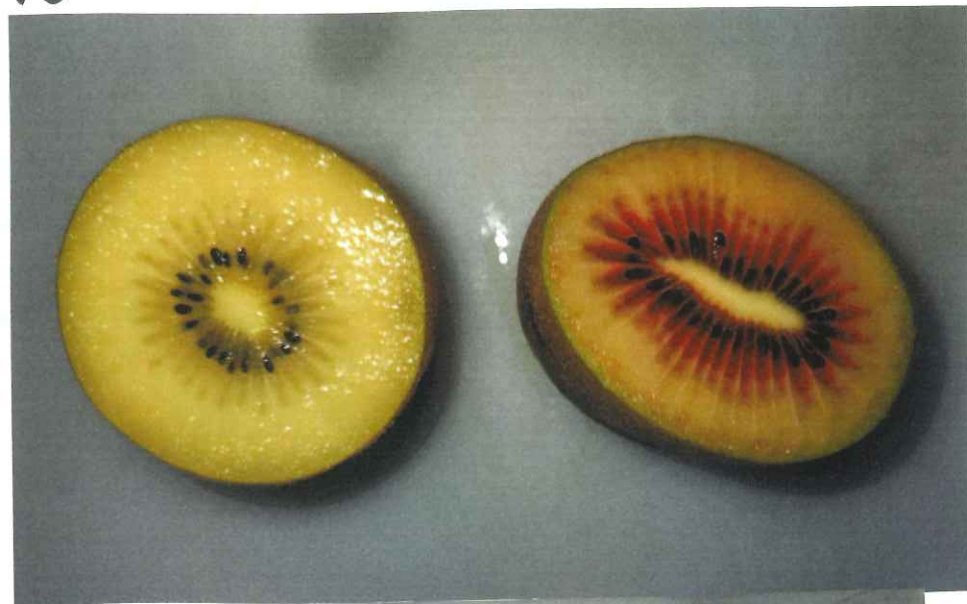
8/17



つるも、葉も枯れてしまった。
これ以上育たないと思う。

キウイの記録

4/15 ゴールドキウイとレッドキウイから種を取る



4/22 キウイのパックに土を入れてそれぞれ種を植えた
が変化なし



6/13
キウイのパックでは育たなかったのが植木鉢に
植え替えたら、芽が出てきた。



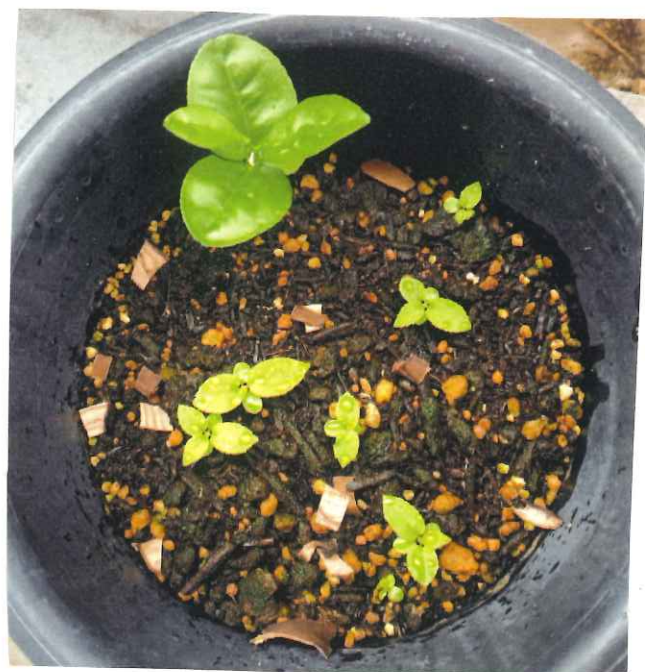
6/19



6/21 葉が4枚になってきた



6/30 葉が大きくなってきた。
バナナの皮を去年と同様に 7/4
肥料としてまく



7/25 大きく育っている3つを残して
間引く。



7/27 葉が急に大きくなった。



8/11



7/25 と比べると
河内晩柑が
かくれるほど
葉が大きくなった
本当にキウイなのか
不安になってきた。

8/17 河内晩柑



キウイ



キウイはつる性の樹木で
河内晩柑は柑橘類の樹木で
同じ木なので、茎は河内晩柑のよう
になるはずなのに、キウイは樹木の茎とは
ちがっている。キウイだと思っていたが、
ちがう植物が育っているかもしれない
もう少し観察をする。

河内晩柑の記録

4/20 食べた河内晩柑から
種を取り、洗い乾燥させる。



6/12 芽が出てきた。



6/13



6/21 葉が大きくなってきた。



6/25



。葉が大きくなった。
。葉が4枚にふえた。

7/27 だんだん高くなっていて、
葉の形が不思議で
2つの葉が重なっているよう 8/4



8/14



8/17



どんどん大きく
育っている。
観察を続ける。

中玉トマトの記録

5/15 食べた中玉トマトから種を取り、洗い乾燥させる。



6/7 植木ポットに植えていた種から芽が出てきた。



6/10



6/13 本葉が2枚出てきた



6/16



6/8 本葉が大きくなってきたから
植木鉢に植木ポットを植える



6/25 茎がのび、葉の数も増えて
いる



6/30

7/2 どんどん高く、大きく
なっている



7/4 大きくなり、たおれてくるから、
支柱を立てた。



7/9



7/19 花が咲いた。



7/24 実がなり始めた。



中玉トマトを植えたのに
細長い形をしている。



7/25 どんどんのびて支柱をこえそうに
なっている。



7/27 実が大きくなっている。



7/29 細長い形から変化なし。



8/1 茎から生えているわき芽をたくさん取ってしまい、不思議なことになった。

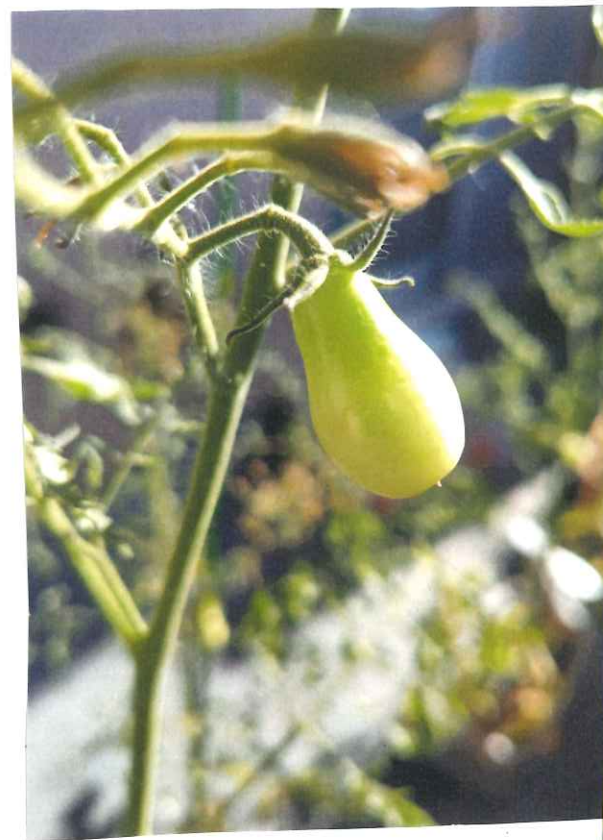


不思議な形のトマトも実っている。

8/14 一番高いもので108cmに
なっているが実の付き方が悪い

実の大きさは変わらない

一房にたくさん実がなっ
ている。



房になっていないが、
どんどん実がっついてきた。

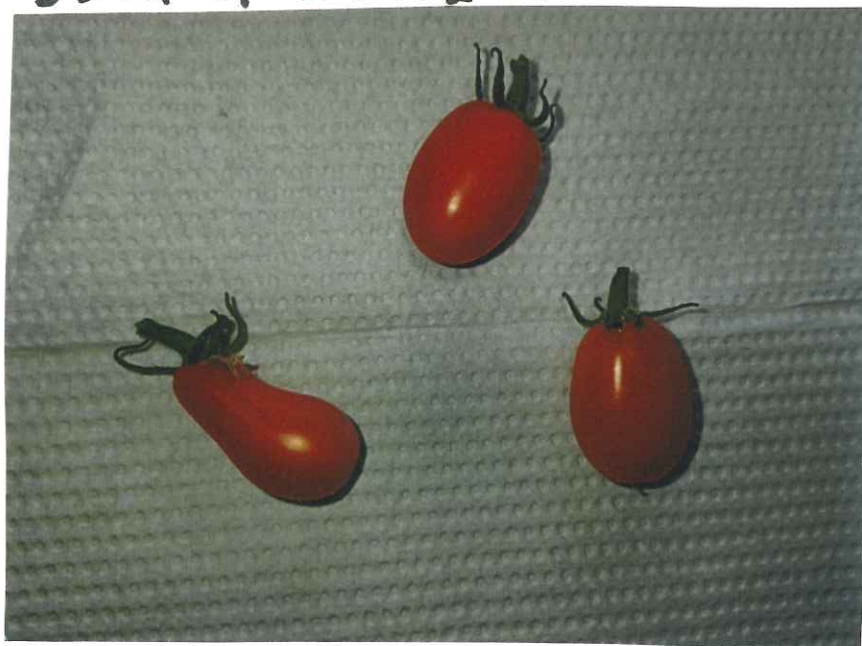
8/17 緑色だ、トマトが赤く色付いてきた。



8/21 真、赤になったから収穫する



3つのトマトを収穫した

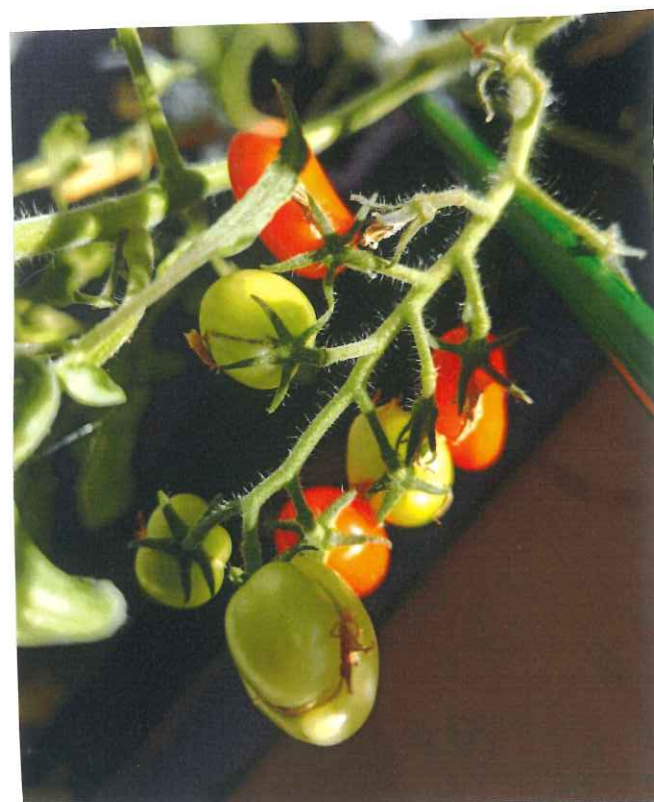


断面



食べてみたら、
皮が固くて
すはかった。
種は2.3個しか
入っていなかった。

8/21 房になっているトマトもバラバラになっている
 トマトも育っているが、どれも中玉トマトの丸い
 形になっていない



トマトの花...ナス科の花

特徴

・両性花

・一つの花の中におしべとめしべの
 両方を持つ花

メリット

自家受粉が可能であるため、安定した収穫が
 期待できる

デメリット

遺伝的多様性が低下しやすくなり、病害虫や
 環境変化に対する抵抗力が弱くなる可能性がある。



スイカの花...ウリ科の花

特徴

・単性花

・一つの花の中におしべ
 またはめしべのどちらか
 一方だけしかない花

メリット

遺伝的多様性の増加による病害虫へ
 の抵抗力向上、そして受粉が他家受粉
 のみであるため収穫量が安定しやすい
 デメリット

自家受粉ができず、媒介者(風や昆虫)
 や他の株の存在に依存する

<結果>

- ・スイカ... 種から育ってつるまで出てきたけど、枯れてしまった。
- ・キウイ... 種を植えた場所から芽が出て、葉も大きく育っている。葉の周りはキ"ザ"キ"ザ"しているからキウイの葉の特徴に似ているけど茎の状態は樹木とちがう。

・河内晩柑... 27cmの高さまで育っている。

葉も緑色で枯れそうにない。

・中玉トマト... 実は赤くなかったが、形は
どれも細長い形になって
中身はゼリーがたくさん入って
いたけど、種はほとんどなかった。
花はたくさん咲いたけど
実はあまりつかなかった。

<分かったこと>

- ・中玉トマトは、実から取った種を植えると、実がなることが分かった。しかし、中玉トマトの丸い形にはならなかった。その理由は暑さのせいなのか、栄養のせいなのか、種のせいなのかは分からなかった。
- ・中玉トマトが育つようにわき芽を取ったが、取りすぎると房の形にならないことが分かった。房の形にならなくても実がなることも分かった。

・キウイは3年連続育ててみて初めて芽が出て葉が育っているけど本当にキウイなのか分からない。

・河内晩柑は葉の数も増えて大きく育っているのでも食べた実の種から育つことが分かった。河内晩柑は樹木なのに中玉トマトの茎が3.7cmなのに対して河内晩柑の茎が1.9cmなので樹木の初めは細いことが分かった。

・スイカは 今年には育たなかったが、去年の日記録から小さいけど甘くておいしい実がなることが分かった。小さくても黒い種がしっかりとつくられることが分かった。

2年間 ウリ科の野菜(スイカ、カボチャ、メロン)を育てて、おはなとめはなが咲いていたので、人工受粉をして実がなっていた。今年は初めて中玉トマトを育てたので、1つの花におしべとめしべがあるナス科の野菜で人工受粉の必要がなかった。なので、野菜でも単性花と両性花があって、それぞれ

ホメリットとデメリットがあることが分かった。

<感想・まとめ>

- ・2年間 種から野菜を育てたが、育てられなかった
トマトとキウイを育てることができてよかった。
キウイなのかまだ分からないが、最後まで育ててみたい。
- ・スイカは今年は育たずに残念だった。植える時期
をまた ずらして育ててみたい。
- ・河内晩柑はここまで育つとは思わなかった。
これから寒くなるので、どこまで育つか分からないが
最後まで育ててみたい。次は寒さに強い果物の種を
植えてみたい。